

◆一般共同研究（研究期間：平成28年4月1日-平成29年3月31日）
 （所内外の研究者からなる少人数のグループで協力して進める共同研究）

No.	No.	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題
1	2016-G-01	石橋 秀巳	静岡大学・理学部	安田 敦	斜長石斑晶の元素拡散プロファイル解析に基づく、富士山のマグマ噴火タイムスケールの検討
2	2016-G-02	直井 誠	京都大学・大学院工学研究科	中谷 正生	南アフリカ大深度金鉱山における微小破壊観測データを用いた岩盤中の亀裂形成プロセスと断層上の微小破壊活動様式の解明
3	2016-G-03	石原 靖	海洋研究開発機構・地震津波海域観測研究開発センター	竹内 希	南鳥島における広帯域地震観測：準定常観測に向けた伊豆・小笠原海域の地震の検出と解析の安定性の評価
4	2016-G-04	小野 重明	海洋研究開発機構・海洋掘削科学研究開発センター	三部 賢治	スラブ中の二酸化炭素マッピングに向けた比抵抗測定
5	2016-G-05	穀山 涉	産業技術総合研究所・工学計測標準研究部門	新谷 昌人	広帯域地震計の感度の振動加速度一次標準による校正
6	2016-G-06	原田 靖	東海大学・海洋学部	加藤 照之	稠密GPS観測網による東海地方地殻変動の簡易リアルタイム観測
7	2016-G-07	前田 裕太	名古屋大学・大学院環境学研究科	武尾 実	浅間山VLPイベントに伴う短周期振動の解析
8	2016-G-08	藤 浩明	京都大学・理学研究科	清水 久芳	球冠調和関数を用いた西太平洋域の地磁気永年変化確定
9	2016-G-09	後藤 和久	東北大学・災害科学国際研究所	佐竹 健治	地質記録に基づく琉球海溝における古地震履歴の解明
10	2016-G-10	嶋野 岳人	常葉大学・大学院環境防災研究科	安田 敦	玄武岩質～安山岩質テフラ試料の定量的記載法の確立
11	2016-G-11	神田 径	東京工業大学・火山流体研究センター	小山 崇夫	比抵抗構造調査による草津白根火山のマグマ溜りの把握

No.	No.	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題
12	2016-G-12	山口 覚	大阪市立大学・大学院理学研究科	上嶋 誠	活断層下の低比抵抗領域から断層活動性を評価する手法開発の研究
13	2016-G-13	後藤 章夫	東北大学・東北アジア研究センター	平賀 岳彦	溶岩流試料の室内実験による粘性係数測定と、野外観測値との比較に基づく、溶岩流流動機構の解明 ―その4：伊豆大島三原山溶岩流―
14	2016-G-14	内田 直希	東北大学・大学院理学研究科	小原 一成	西南日本における様々なスローすべり現象の相互作用の研究
15	2016-G-15	金嶋 聰	九州大学・大学院理学研究院	川勝 均	阿蘇火口における水蒸気爆発の長期間連続モニターに関する観測的研究
16	2016-G-16	加納 靖之	京都大学・防災研究所	吉田 真吾	「新収日本地震史料」所収の改訂すべき史料事例集の作成
17	2016-G-17	長谷中 利昭	熊本大学・大学院自然科学研究科	安田 敦	阿蘇-4火砕噴火および前駆噴火噴出物に含まれる鉱物中のメルト包有物の研究（2）
18	2016-G-18	柴田 知之	京都大学・理学研究科・	中田 節也	富士火山、小御岳火山、先小御岳火山のマグマの成因
19	2016-G-19	中東 和夫	東京海洋大学・大学改革準備室	蔵下 英司	豊後水道水ノ子島での地震観測
20	2016-G-20	大藤 茂	富山大学・大学院理工学研究部	折橋 裕二	ジルコン年代学から見た北海道の白亜系の堆積場所とテクトニクス
21	2016-G-21	安東 淳一	広島大学・大学院理学研究科	中井 俊一	平尾台に露出する破碎岩中に存在する地殻流体の起源の解明